

YAMAHA
SDS
 SOUND DEVICE SERIES
 DISTORTION DI-10M II

取扱説明書・保証書



YAMAHA
 日本楽器製造株式会社
 本社 東京都千代田区千代田10-1
 TEL 0534(6)1111

PSQFK20027
 F020210

SDS

SOUND DEVICE SERIES

ヤマハ・サウンド・デバイス・シリーズは単体としての性能を高めるだけでなく、マッチング、操作性、可搬性など、複数のユニットを組み合わせる際の問題点をすべて解決することを目標に開発されたエフェクトユニットです。

複数のユニットを組み合わせるためには、単体としての完璧な性能が要求され、不完全なユニットの存在を許すことはできません。ヤマハはエフェクターを多用する今日のミュージシャンのニーズに応えるために、特にこれらの点を重視して、このサウンド・デバイス・シリーズを開発いたしました。

目次

1.....	ディストーション
2.....	接続の方法
3.....	各部の機能
4.....	セッティング例
5.....	電池交換
6.....	ご注意
7.....	仕様
8.....	アフターサービス

1. DISTORTION

ディストーション

ディストーションは、音を強制的に歪ませたり伸ばしたりするためのエフェクターです。

入力信号は非常に高い増幅度のプリアンプで増幅され振幅制限回路を通過した後、音色を調整するトーンと、音量を調整するレベルを経てディストーション特有のサウンドが出力されます。

図1は各部の働きと信号の移り変わりを示したものです。

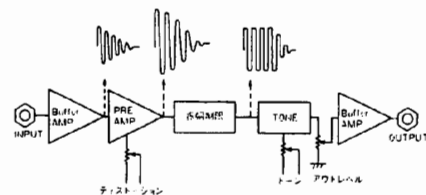
DISTORTION (ディストーション) はプリアンプの増幅度を調整するつまみです。

TONE (トーン) は音色をコントロールするつまみです。

OUT LEVEL (アウトレベル) は音量を調整するつまみです。

DI-10M IIは、真空管アンプ特有のソフトな音色からハードなディストーションサウンドまで幅広い音割りができるだけでなく、独自のトーン回路によって、ソフトでも高域はクリアーに、そしてハードでは耳ざわりな歪みを少なく、あらゆるニーズに対応できる高性能のディストーションです。

図1

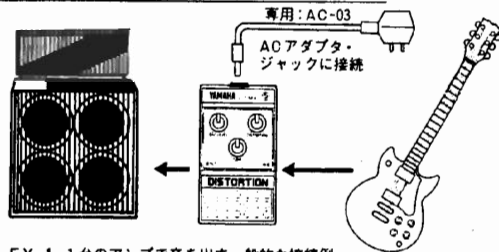


2. Connection

接続の方法

1. 付属の乾電池を接続してください。
(裏面の電池交換を参照ください。)
AC電源で使用する場合、ACアダプタは専用のYAMAHA AC-03を接続してください。
2. INPUTにエレキギターなどの楽器を接続してください。プラグを差し込むと自動的に電源が入ります。
3. OUTPUTからアンプ、または次のエフェクターのINPUTに接続してください。
4. フットスイッチで効果をON/OFFすることができます。ONの状態ではインジケータが点灯し、効果がかかります。
5. 右の図は、他のエフェクターを併用する場合の効果的な接続順序の例を示したものです。2個以上のエフェクターを使用するときの参考にしてください。

(注意) 当製品の入出力端子はEIAJ規格RC-6701Aに適合しています。
規格外のプラグを使用した場合には、正常に動作しないことがありますのでご注意ください。



EX. 1 1台のアンプで音を出す一般的な接続例

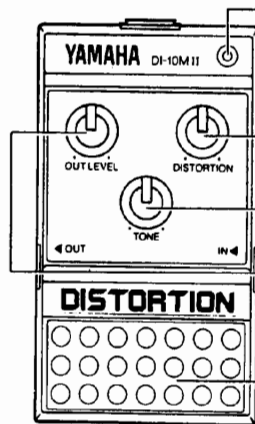


EX. 2 ステレオコーラス効果が得られる接続例



3. Function

各部の機能



エフェクトインジケータ
効果のON/OFFと電池の有無を確認するためのLEDです。ONの状態では点灯します。

ディストーション
プリアンプの増幅度を調整するつまみです。右に回すほど増幅度が大きくなり、歪む部分が長くなり音が伸びたように感じます。さらにエレキギターの場合には、スピーカーからの音でフィードバックがかかって発振が起り易くなります。

トーン
音色をコントロールするつまみです。右に回すほど鋭い音になります。

アウトレベル
出力の音量を調整するつまみです。フットスイッチをON/OFFして原音とエフェクト音の音量バランスを調整してください。

エフェクトフットスイッチ
効果のON/OFFを足もとで行なうためのフットスイッチです。

4. Setting Example

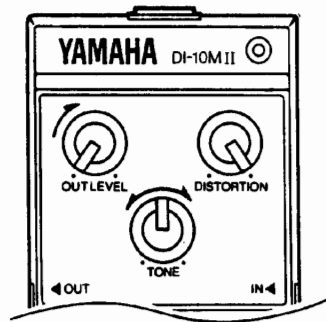
セッティング例

EX.1

ハード/ソフト・ディストーションサウンドのセッティングです。

次の手順に従ってセットしてください。

- (1)フットスイッチをON/OFFしてインジケータが点灯している事を確認してください。
- (2)DISTORTIONを図のようにセットしてください。
- (3)TONEをお好みの位置にセットしてください。
- (4)フットスイッチをON/OFFして原音とエフェクト音の音量バランスをOUT LEVELで調整してください。

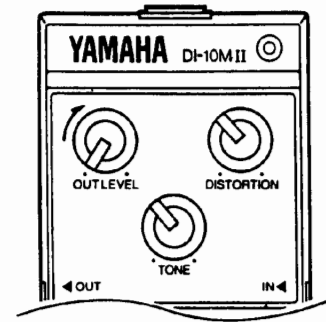


EX.2

オーバードライブ的な効果が得られるセッティングです。

次の手順に従ってセットしてください。

- (1)フットスイッチをON/OFFしてインジケータが点灯していることを確認してください。
- (2)TONE及びDISTORTIONを図のようにセットしてください。
- (3)フットスイッチをON/OFFして原音とエフェクト音の音量バランスをOUT LEVELによって調整してください。

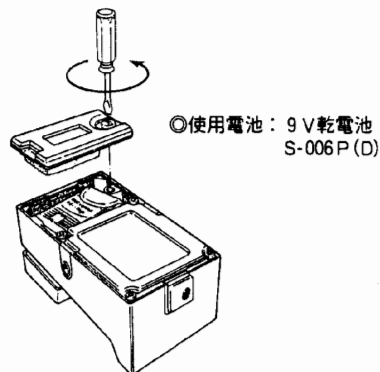


5. Battery Change

電池交換

※エフェクトインジケータが暗くなったり、点灯しなくなった場合は新しい電池と交換してください。電池を交換してから点灯しなくなるまでの時間(電池寿命)は、温度、電池の種類、使用状態などによって異なります。

- 1.底面の電池カバー取付ネジを、右の図のように、マイナスドライバーなどで外してください。
- 2.古い電池を取り去り、同じ規格の新しい電池を入れてください。
- 3.電池カバーを取り付けて、ネジをしめてください。
- 4.長期間使用しない場合には、液もれなどによる故障を防ぐために電池を外しておいてください。



6. Caution

ご注意

- 1.電池を長持ちさせるため、使用しないときは必ず入力側(IN)ジャックからプラグを抜いてください。
- 2.入力側ジャックを接続してフットスイッチを踏んだ時、エフェクトインジケータが暗くなったり、点灯しなくなった場合は電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。
- 3.電池の液もれによる故障を防ぐため、長期間使用しない時は、電池を取り出して保管してください。
- 4.ACアダプタは専用のYAMAHA AC-03をご使用ください。
他のACアダプタを使用された場合には故障の原因になることがあります。
- 5.この取扱説明書・保証書をお読みになった後は、大切に保管してください。

7. Specifications

仕様

●入力インピーダンス：1MΩ ●出力インピーダンス：2kΩ ●最大出力レベル：600mV peak to peak at 250Hz ●ノイズレベル：DIN AUDIO-110dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、TONE at max、DISTORTION at max ●周波数特性(エフェクトオフ)：20Hz~100kHz ±1.5dB ●トーンコントロール(TONE)：±6dB、at 2kHz ●ゲインコントロール(DISTORTION)：28dB at 1.3kHz ●クリップ比：70%、入力0dB、@0dB=775mV、DISTORTION at max ●ファンクション：TONE、DISTORTION、OUT LEVEL、EFFECT FOOT SW、EFFECT INDICATOR、INPUT、OUTPUT ●電池寿命：連続使用約42時間、@ハイトップ ●電源：9V乾電池(S-006P (D))、ACアダプタ ●寸法・重量：71W×56H×126Dmm・420g(電池を含む) ●付属品：9V乾電池

8. After Service

アフターサービス

1. アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂たく場合もあります。また、お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

2. 保証期間

ヤマハSDSシリーズ製品の保証は、ご購入日(保証書による)より満6ヶ月(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証は国内のみ有効)と致します。

3. 保証期間後のサービス

満6ヶ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたらヤマハサービス網までお問い合わせください。

4. YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(お客様ご相談窓口・お預り修理窓口)

- | | | | |
|------------------|---------------------------|---------|--|
| ●東京電音サービスセンター | ☎(044)434-3100 | 〒211 | 川崎市中原区木月1184 |
| ●新潟電音サービスステーション | ☎(0252)43-4321 | 〒950 | 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F |
| ●大阪電音サービスセンター | ☎(06)877-5262 | 〒565 | 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 |
| ●四国電音サービスステーション | ☎(0878)51-7777
22-3045 | 〒760 | 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内
名古屋市 中川区 玉川町2-1-2
(日本楽器名古屋流通センター) |
| ●名古屋電音サービスセンター | ☎(052)652-2230 | 〒454 | 福岡市博多区博多駅前2-11-4 |
| ●九州電音サービスセンター | ☎(092)472-2134 | 〒812 | 広島市安佐南区祇園町西原2205-3 |
| ●広島電音サービスステーション | ☎(082)874-3787 | 〒731-01 | 札幌市東区本町1条9-3 |
| ●北海道電音サービスセンター | ☎(011)781-3621 | 〒065 | 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F |
| ●仙台電音サービスセンター | ☎(0222)96-0249 | 〒983 | 浜松市東伊場2-13-12 |
| ●浜松電音サービスステーション | ☎(0534)56-9211 | 〒432 | |
| ●(本社) | | | |
| 営業技術課 電音サービスセンター | ☎(0534)65-1111 | 〒430 | 浜松市中沢町10-1 |